

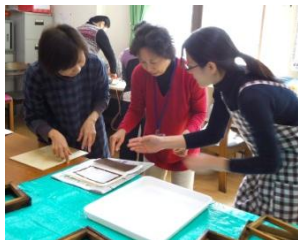


平成 24 年 度

ボランティア交流会 開 催 し ま し た

3月4日、今年のボランティア交流会は、「福祉工房わかくす」の見学と「循環レストランのあ」での交流を行いました。

「福祉工房わかくす」は、宇美町の障がいのある方の作業所ですが、NPO法人として、ボランティアの方々の様々な支援を受けて運営をしています。施設の活動をお手伝いしているボランティアは、箱折り・わかくすグッズづくりや外回りの草取り・畑作り、空き缶の収集・分別などを行っています。この日は、喫茶わかくす(図書館1階入口)などで販売しているハガキやしおりを紙すきで作成しているボランティアの角田さん、片倉さん、鬼塚さんのご厚意で一緒に紙すきの体験をしました。また、ハンドベルの演奏を教えているボランティアの熊谷さんのご協力で、



紙すきの様子

作業所の皆さんと一緒に即興でハンドベルで「ひなまつり」の曲の演奏をしました。

参加者の皆さんは、初めての体験や福祉工房の方々との交流を楽しんでいました。



わかくすの和紙ハガキ



みんなでハンドベルを演奏しました

参加者
アンケート
より

- ★「初めて紙すきとやらを体験して、新しい事にふれることが出来た。一生懸命、紙を作っている姿は感心した」
- ★「作業所の方々との交流、体験が楽しかった」



あのランチで交流しました

「循環レストランのあ」は、「NPO法人よか隊」の運営するレストランで、野菜くずをリサイクルして作る自家製の野菜を使い、障がいのある方の雇用も進めていこうとしています。こちらでお昼ごはんを食べながら、ふみらぼの平成25年度の事業の話や「NPO法人よか隊」の思いなどを聞きました。

参加者
アンケート
より

- ★「初めてうかがいましたが、若い方が多いのに驚きました。また、イキイキと働いていらっしゃるのが伝わりました。ごちそうさま、ありがとう」
- ★「自然の中で自然の恵みをいただく感じで良かった」
- ★「いろいろな所のボランティア活動をしてある所で、見学をかねて交流会をしたらいいと思います」



ボラリンコ星から



編集後記: ボランティア交流会では「初めて来ました」「初めて体験しました」という感想をたくさん聞きました。新しいことを初めて体験するのは不安もありますが、ワクワクと心が動きます。ボランティア活動を通じて、大人になってもワクワクする活動を始められる春になるといいなと思います。(K. E)